

平成26年度 芦屋市文化振興基本計画評価票

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

施策の柱 ①市民の自主的な文化活動の推進

基本的な施策 ア 市民の文化活動の充実
 主な施策概要 【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発
 事業の具体例 ◆市の文化施設での文化に関する講座、講演会等の開催

◆講演・講座・学級・教室等の開催										新規	継続	
1	課名 公民館		事業の対象者 市民		事業の目的						新規	継続
	課長名 高田 浩志		事業の目的									
	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	◎人材育成	◎趣味・余暇の充実	◎その他						
	◎コミュニティの形成	◎市民活動の活性化	◎伝統芸能等に触れ合う機会	◎歴史に触れ合う機会	◎外国文化との交流	◎						
	H25実施内容			課題			今後のビジョン					
	講座 20講座, 5,793人 日本語学級 47回, 207人 講演会セミナー等 15回, 3,296人 公民館子ども教室 20回, 610人						今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標						
	広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)	生涯学習課, 芦屋病院, 美術博物館, 選挙管理委員会	7,011	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
	まちナビ(文字データ放送) ◎				アウトプット	事業内容及び参加人数	講座:4,678人, 学級:210人, セミナー:2,518人, 教室:401人	講座:5,793人, 学級:207人, セミナー:3,296人, 教室:610人	現状維持	A		
	あしやトライあんぐる(広報番組)	他の団体(団体名等)	NHK, 芦屋川カレッジ学友会, 芦屋市PTA協議会, 芦屋ユネスコ協会, 芦屋大学, 国立民族学博物館, コドウ迎賓館		アウトカム							
その他	新聞(地方版)											
2	◆公民館図書室		事業の対象者 市民, 市民センター利用者		事業の目的						新規	継続
	課名 公民館		事業の目的									
	課長名 高田 浩志		事業の目的									
	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	◎人材育成	◎趣味・余暇の充実	◎その他						
	◎コミュニティの形成	◎市民活動の活性化	◎伝統芸能等に触れ合う機会	◎歴史に触れ合う機会	◎外国文化との交流	◎						
	H25実施内容			課題			今後のビジョン					
	図書貸出者数 13,149人						図書館と連携しながら今後も事業を実施する。					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標						
	広報あしや(市広報紙)	市(課名)	図書館	1,677	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
	まちナビ(文字データ放送)				アウトプット	図書貸出者数	12,485人	13,149人	現状維持	A		
あしやトライあんぐる(広報番組)	他の団体(団体名等)		アウトカム									
その他												
3	◆読書講演会		事業の対象者 市民		事業の目的						新規	継続
	課名 図書館		事業の目的									
	課長名 丸尾 恵子		事業の目的									
	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	◎人材育成	◎趣味・余暇の充実	◎その他						
	◎コミュニティの形成	◎市民活動の活性化	◎伝統芸能等に触れ合う機会	◎歴史に触れ合う機会	◎外国文化との交流	◎						
	H25実施内容			課題			今後のビジョン					
	【読書講演会】 テーマ『十五少年漂流記の舞台 中学からの愛読書と歴史地理研究』 講師:田辺真人氏(園田女子大学名誉教授) 平成25年度実施回数1回			参加者を増加させる。			図書館の講演会という特色を出していけるよう工夫していく。					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標						
	広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)		34	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
	まちナビ(文字データ放送)				アウトプット	参加人数	32人	39人	増加	B		
あしやトライあんぐる(広報番組)	他の団体(団体名等)		アウトカム		参加人数	32人	39人	増加				
その他	図書館HP											
4	◆教育普及活動【展覧会関連事業】		事業の対象者 市民		事業の目的						新規	継続
	課名 美術博物館		事業の目的									
	課長名 長岡 一美		事業の目的									
	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	◎人材育成	◎趣味・余暇の充実	◎その他						
	◎コミュニティの形成	◎市民活動の活性化	◎伝統芸能等に触れ合う機会	◎歴史に触れ合う機会	◎外国文化との交流	◎						
	H25実施内容			課題			今後のビジョン					
	・学芸員によるギャラリートーク 他5事業 ・対談「版画の魅力ー松谷 武利」 ・トークイベント「浅田ホーム×ユアホーム=アットホーム」 ・「学習雑誌にみる子どもの歴史」関連 オープニング記念展示解説会 他6事業			実施事業等の決定においては、内容と収益性、集客力等のバランスを十分考慮する			公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及び充実した関連事業(講座・講演、ギャラリートーク等)を実施する					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標						
	広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
	まちナビ(文字データ放送) ◎				アウトプット	参加人数	792人	679人	増加	B		
あしやトライあんぐる(広報番組) ◎	他の団体(団体名等)		アウトカム		事業本数	16事業	15事業	現状維持				
その他												

◆教育普及活動【講演, 講座等】										新規	継続		
5	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会	◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎ その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	【講演会】 ・「浮世絵と青」・「青の文化史ー日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」・「現代美術懇談会(ゲンビ)ー“抽象”と“総合”が目指したもの」他2事業 【講座】 ・古文書講座『撰津名所図絵』を読む・古文書講座(浮世絵から読み解く江戸時代の社会)				展示事業の大半が一般社会人を対象とした企画となるのは否めないところもあるが、小・中学生等の子どもたちを含む幅広い年代を意識した講演、講座等の企画が望まれる。				公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及び充実した関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)を実施する				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんぐる(広報番組) ◎ その他		市(課名) 他団体(団体名等)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	参加人数	246人	245人	増加	B		
						アウトカム	事業本数	12事業	7事業	現状維持			
◆展示事業【ロビーギャラリートーク】										新規	継続		
6	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会	◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎ その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	・田中佐和子ギャラリートーク ・岡田嘉夫ギャラリートーク ・赤井稚佳ギャラリートーク 他2事業				実施事業等の決定においては、内容と収益性、集客力等のバランスを十分考慮する				公立文化施設を意識しつつも、谷崎文学に係る市民の自由な学習の場、発展的な学習の場、市民交流の場として機能させる。				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 読売新聞		市(課名) 他団体(団体名等)		2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	参加者数	251人	152人	増加	B		
						アウトカム	事業本数	7事業	5事業	増加			
◆講座・講演										新規	継続		
7	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会	◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎ その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	【文学館講座】 ・源氏物語講座・「枕草子」を読む講座・黒田官兵衛 人と哲学・初歩からの朗読講座 他20講座 【1日特別講座】・墨彩画一日体験講座 【現地講座】・谷崎潤一郎旧邸めぐり 【朗読会】・第1～第4回 【展示関連イベント・講演】・特別講座「谷崎文学と歌舞伎」他1事業				実施事業等の決定においては、内容と収益性、集客力等のバランスを十分考慮する				文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび、市民がその文学により一層親しむ場とするともに、谷崎文学の研究の拠点として、引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り、これらを市民共通の資産として活用していきたい。				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 読売新聞		市(課名) 他団体(団体名等)		6,155		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	受講者数・参加者数	3,089人	2,698人	増加	B		
						アウトカム	講座・講演本数	31	32	現状維持			
◆その他事業										新規	継続		
8	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会	◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎ その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	【特別イベント】 ・朗読シアター「猫と庄造と二人のおんな」、「吉野葛」 ・谷崎映画名作選「朧」上映会 ・朗読演劇とトーク 【特別行事】 ・残月祭				谷崎文学を市民等に広く紹介することを目的とするが、作品によっては集客力を欠くこともあり、工夫が必要				文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび、市民がその文学により一層親しむ場とするともに、谷崎文学の研究の拠点として、引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り、これらを市民共通の資産として活用していきたい。				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 読売新聞 朝日新聞 毎日新聞 神戸新聞 NHK 他		市(課名) 他団体(団体名等) 大阪ドイツ文化センター		2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	参加者数	1,592人	914人	増加	B		
						アウトカム	事業本数	4事業	5事業	増加			

9	◆富田碎花顕彰〔再掲〕										新規	継続						
	課名 生涯学習課					事業の対象者 市民, 詩を親しむ人												
	課長名 長岡 一美					事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他							
	H25実施内容					課題					今後のビジョン							
	【富田碎花賞の贈呈】 「詩人 富田碎花」の業績を顕彰するため、富田碎花顕彰会との共催により、公募した詩集の中から、優れた詩集に対し富田碎花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田碎花が長年居住し、谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での、碎花ゆかりの資料等の展示公開 【富田碎花顕彰会講座】 富田碎花顕彰会による講座の実施 5月：属目散趣(富田碎花遺稿詩集)をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催					中長期で見た場合応募詩集の数が、減少傾向が続いているので増加、又は、現状維持をする。					富田碎花賞実施の広報先を増やすことで、応募詩集数を増加させる。							
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
	広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名)		595		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
	その他		他の団体(団体名等)		富田碎花顕彰会		アウトプット		応募詩集数		93		90		現状維持		B	

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

主な施策概要		【2】市民の鑑賞機会の提供									
事業の具体例		<ul style="list-style-type: none"> ◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供 ◆市の文化施設での公演事業の実施 ◆市立図書館での展示事業の実施 ◆市立美術博物館での美術作品の展覧会の開催、文化に関する資料等の展示、展覧会等の開催 ◆谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居での文学資料館に関する展示、展覧会等の開催 									

10	◆自由研究・教育活動展										新規	継続						
	課名 学校教育課					事業の対象者 市民												
	課長名 北野 章					事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他							
	H25実施内容					課題					今後のビジョン							
	幼小中学校の特色ある教育活動や子どもの作品を展示して学校間の交流を図るとともに、学校教育に対する市民の理解と関心を高める。					来場者をさらに増やすため、市民への更なる啓発が必要である。					学校園の教育活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実に努めていく。							
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
	広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名)		293		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
	その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		来場人数		約1,600人		約1,500人		増加		A	

11	◆中学校総合文化祭										新規	継続						
	課名 学校教育課					事業の対象者 市民												
	課長名 北野 章					事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他							
	H25実施内容					課題					今後のビジョン							
	音楽演奏や作品展示を通じて、中学校間の文化交流を図る。					展示部門では、教育活動展の展示と重なる作品もあり、独自の展示物の充実に必要がある。					中学生が、これまでの活動成果を発表する貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実に努める。							
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
	広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名)		385		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
	その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		来場人数		約1,100人		約1,100人		増加		A	

◆芦屋市造形教育展										新規	継続						
12	課名 学校教育課 課長名 北野 章				事業の対象者 市民		事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他						
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
	幼小中の各学校園の特色ある絵画や工作作品を展示することにより、造形教育の充実を図るとともに、その成果を発信する。				来場者をさらに増やすため、市民への更なる啓発が必要である。				学校園の日頃の造形活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実に努める。								
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ① まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		400		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		来場人数		約4,700人		約4,700人		増加		A	
						アウトカム		学校園の参加率		100%		100%		現状維持			
◆富田碎花顕彰〔再掲〕										新規	継続						
13	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民, 詩を親しむ人		事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他						
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
	【富田碎花賞の贈呈】 「詩人 富田碎花」の業績を顕彰するため、富田碎花顕彰会との共催により、公募した詩集の中から、優れた詩集に対し富田碎花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田碎花が長年居住し、谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での、碎花ゆかりの資料等の展示公開 【富田碎花顕彰会講座】 富田碎花顕彰会による講座の実施 5月：厲日散趣(富田碎花遺稿詩集)をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催				中長期で見た場合応募詩集の数が、減少傾向が続いているので増加、又は、現状維持をする。				富田碎花賞実施の広報先を増やすことで、応募詩集数を増加させる。								
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ① まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		595		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		応募詩集数		93		90		現状維持		B	
県芸術文化協会誌「すずかみ」 土曜美術出版「現代詩手帖」 同人誌「半どんの会」 日本書籍出版協会「出版広報」 阪神南泉民局広報誌 読売新聞大阪文化部「記事」 同人誌「Messier」 に応募要項折込		富田碎花顕彰会				アウトカム		応募都道府県数		57%		62%		現状維持			
◆常設展示事業・公民館ギャラリー										新規	継続						
14	課名 市民センター 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者		事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他						
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
	常設展示 5回 公民館ギャラリー 20グループ								今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。								
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ① まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		483		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		常設展示の内容と回数		6回		5回		現状維持		A	
新聞(地方版)						アウトカム											

◆公民館音楽会										新規	継続	
15	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
公民館音楽会 5回, 580人								今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他の団体(団体名等)		500		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
						アウトプット	音楽会の内容と回数	5回	5回	現状維持	A	
						アウトカム						
◆大人が楽しむおはなしの会										新規	継続	
16	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 市民							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
大人を対象に昔話や創作物語などを語るおはなしの会の実施した。平成25年度実施回数1回				ボランティアの育成				昔話・児童文学の楽しさを幅広く知ってもらえるよう引き続き開催していく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他の団体(団体名等)		3		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
		図書館HP ムギの会 グループめるへん				アウトプット	参加人数	48人	52人	現状維持	A	
						アウトカム	参加人数	48人	52人	現状維持		
◆ライブラリーコンサート										新規	継続	
17	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 市民							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
音楽家を招き、図書館内でコンサートを実施した。平成25年度実施回数3回								今後もボランティア等の協力を得ながら、市民が教養を深めていけるようなイベントを実施していく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他の団体(団体名等)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
		図書館HP 芦屋市立図書館【友の会】				アウトプット	参加人数	620人	770人	現状維持	A	
						アウトカム	参加人数	620人	770人	現状維持		
◆ギャラリー展示										新規	継続	
18	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 市民							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
図書館のエントランスに絵画や書などの芸術作品を展示。平成25年度実施回数4回								今後もボランティア等の協力を得ながら、市民が教養を深めていけるような場を提供していく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他の団体(団体名等)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
		図書館HP 芦屋市立図書館【友の会】				アウトプット	展示回数	4回	4回	現状維持	A	
						アウトカム	展示回数	4回	4回	現状維持		

◆金曜シネサロン										新規	継続		
19	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 市民		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	第1・第3金曜日に名画の上映を行った。 平成25年度実施回数21回				事業を通じて図書館利用の促進を図る。				今後も市民が教養を深める場を提供していく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎		市 (課名)		32,367 【美術博物館関連 経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)		他の団体 (団体名等)				アウトプット	参加人数	1,603人	1,414人	現状維持	B		
あしやトライあんどぐる(広報番組)						アウトカム	参加人数	1,603人	1,414人	現状維持			
その他 図書館HP													
◆展示事業【美術部門】										新規	継続		
20	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	【展示事業】 ・コレクション版画展 ・アートピクニックvol.3 マイホーム ユアホーム 展 ・第31回 芦屋市造形教育展 ・ゲンビ New era for creations 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957 展 他1事業				事業展開に係る経費は一部、入館料収入が充てられる為、収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。				公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)の充実を図っていきたい。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎		市 (課名)		32,367 【美術博物館関連 経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送) ◎		他の団体 (団体名等)				アウトプット	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	A		
あしやトライあんどぐる(広報番組) ◎						アウトカム	観覧者満足度		85%	増加			
その他 新聞雑誌 フリーペーパー テレビ		近隣の県・市町村 教育委員会 30~50ヶ所											
◆展示事業【展示室】										新規	継続		
21	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	・春の特別展「猫を愛した作家たち～夏目漱石、内田百閒、大佛次郎、そして谷崎～」…猫を愛し、その魅力を小説に描いた作家の生原稿や複製等約100点を公開。 ・夏の通常展「谷崎潤一郎 人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を、遺愛品、文学作品、書簡、写真などの資料を通して紹介。 ・秋の特別展「狐と谷崎、そして歌舞伎」…歌舞伎に登場する狐から母子の情愛や女性への憧れを育む。錦絵、押限、舞台写真など100点を展示。 ・冬の通常展「谷崎潤一郎 人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を、遺愛品、文学作品、書簡、写真などの資料を通して紹介。				繰り返し訪れても新たな発見が得られるよう、引き続き、限られた館蔵品を活用した季節感や話題性のある展示更新を行い、その周知を図る。				文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび、市民がその文学により一層親しむ場とするとともに、谷崎文学の研究の拠点として、引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り、これらを市民共通の資産として利活用していきたい。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎		市 (課名)		虚子記念文学館 大佛次郎記念館 神奈川近代文学館 早稲田大学演劇博物館 国立劇場 池田文庫		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)		他の団体 (団体名等)				アウトプット					B		
あしやトライあんどぐる(広報番組)						アウトカム	事業本数	4事業	4事業	現状維持			
その他 読売新聞 神戸新聞 他													

◆展示事業【ロビーギャラリー】										新規	継続	
22	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
	・猫の墨絵展 ・墨彩画展 ・歌舞伎絵原画展 ・イラストレーション展～本の散歩～ 他4事業				実施事業等の決定においては、内容と収益性、集客力等のバランスを十分考慮する (評価にあたっては、事業本数は減少しているが、芦屋市出身の作家に作品展を行なってもらうなど、地元への貢献が強化できたを加味したもの)				谷崎文学に係る市民の自由な学習の場、発展的な学習の場、市民交流の場として機能させる。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		2,717		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
まちナビ(文字データ放送)				【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】		アウトプット	事業本数	10事業	8事業	増加	A	
あしやトライあみぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム						

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

主な施策概要		【3】市民の文化活動や発表する機会の確保									
事業の具体例		<ul style="list-style-type: none"> ◆芦屋市展の開催 ◆文化団体の創作、発表等の活動への助成等による支援 ◆伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催による支援 ◆市の文化施設での創作、練習、発表等の活動の場の提供 ◆市の文化施設の利用環境の整備 									

◆社会教育関係団体支援・育成事業【再掲】										新規	継続	
23	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 社会教育関係団体							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
	市PTA協議会等13団体への事業運営支援として補助金を交付した。社会教育関係団体の追加登録を実施した。「社会教育関係団体の地域での役割」をテーマに研修会を行った。				社会教育関係登録団体の地域貢献に対する意識を持ってもらう。				各登録団体の意識が高まり、より活発な活動と地域への貢献ができるよう支援する。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		2,782		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	研修参加者数	189人	231人	増加	B	
あしやトライあみぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム	研修満足度	-	85%	増加		

◆施設の維持管理										新規	継続	
24	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民、詩を親しむ人							◎
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
	【富田碎花旧居の維持管理】 富田碎花が長年居住し、谷崎潤一郎も住んだことのある旧居の維持管理 【三条分室の維持管理】 文化財の整理事務所及び三条コミュニティ・スクールの活動拠点である三条分室の維持管理				施設の老朽化に伴う整備等の管理経費の増加				コストパフォーマンスを考慮しつつ、より有効な施設の利活用を進める。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		5,270		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	活動団体数(三条)及び訪問者数(旧居)	400団体(旧居)	446団体(旧居)	増加	B	
あしやトライあみぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)	富田碎花顕彰会 三条地域協議会			アウトカム						

◆指定管理者制度導入施設の維持管理										新規	継続		
25	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の施設設備の維持管理について、指定管理者と調整、連携し、良好に行う。				施設の老朽化に伴う整備等の管理経費の増加				コストパフォーマンスを考慮しつつ、より有効な施設の利活用を進める。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		118,318		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	調整会議実施回数			増加	B		
あしやトライあぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム	計画外修理費用の額			減少			
その他													
◆市民センター管理運営										新規	継続		
26	課名 市民センター 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	全開室数 34,873室中, 使用件数 15,649室 インターネットからの貸室の仮予約を引き続き実施。								民間事業者への委託内容を精査し、今後も継続して実施する。 貸室管理をしているコンピュータシステムを他の施設とともに改修する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		105,212		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	使用件数	14,897件	15,649件	現状維持	A		
あしやトライあぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム							
その他													
◆市民会館文化事業										新規	継続		
27	課名 市民センター 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	市民ステージ 11団体 市民ギャラリー 14団体 市民絵画展 52人								今後も継続して実施する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		486		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加団体, 人数	11団体 12団体 50人	11団体 14団体 52人	増加	A		
あしやトライあぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム							
その他													
◆展示事業【公募展】										新規	継続		
28	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	【展示事業】 ・第62回 芦屋市展				応募点数に比し、入選点数の割合が高い為、より切磋琢磨して感性を磨くという意識の高揚を図り難いのではないかと。				気軽に美術博物館に足を運ぶ機運を醸成する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	観覧者数	—	1,330人	現状維持	A		
あしやトライあぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム	応募点数	—	324	現状維持			
その他		新聞雑誌 フリーペーパー											

主な施策概要 【4】文化活動に関する情報の提供 事業の具体例 ◆広報紙、ホームページ等様々な媒体による文化活動のための情報提供										
29	◆文化財関連事業の情報提供〔再掲〕 新規 継続									
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民 事業の目的					
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他				
	H25実施内容			課題		今後のビジョン				
文化財関連事業を開催する際には、市民に周知するために、事前に「広報あしや」及びホームページに案内を掲載している。			文化財関連事業を一人でも多くの市民に周知する。		今後も文化財関連事業を開催する際には、一人でも多くの市民に知っていただけるように、「広報あしや」及びホームページ等に案内を掲載していく。必要であれば、新聞等のメディアも活用する。					
掲載された広報媒体			協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標			
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)	広報国際交流課	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちなび(文字データ放送)			アウトプット	「広報あしや」及びホームページの掲載率	100%	100%	現状維持	A		
あしやトライあんぐる(広報番組)	他の団体(団体名等)		アウトカム	「広報あしや」及びホームページの掲載率(前年度比)	100%	100%	現状維持			
30	◆その他【広報】 新規 継続									
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民 事業の目的					
	鑑賞機会の提供 ◎	発表の場の提供 ◎	学習機会の提供 ◎	人材育成 ◎	趣味・余暇の充実	その他				
	コミュニティの形成 ◎	市民活動の活性化 ◎	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流					
H25実施内容			課題		今後のビジョン					
・広報紙、ホームページ、ツイッター等様々な媒体による幅広い情報の提供					事業毎に利用者アンケートを実施し、そのニーズの把握に努めると共に自己評価を行い、今後の事業展開に反映する等市民に親しまれる美術博物館を目指している。収集資料等のデジタル化、データベース化を推進していきたい。					
掲載された広報媒体			協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標			
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちなび(文字データ放送) ◎			アウトプット	総入館者数	27,540人	33,040人	増加	A		
あしやトライあんぐる(広報番組) ◎	他の団体(団体名等)		アウトカム	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持			
31	◆その他【広報】 新規 継続									
	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡一美				事業の対象者 市民 事業の目的					
	鑑賞機会の提供 ◎	発表の場の提供 ◎	学習機会の提供 ◎	人材育成 ◎	趣味・余暇の充実 ◎	その他				
	コミュニティの形成	市民活動の活性化 ◎	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流					
H25実施内容			課題		今後のビジョン					
・広報紙、ホームページ、新聞等様々な媒体による幅広い情報の提供			集客につながる、積極的な広報活動を行なうこと(評価にあたっては、前年比の総入館者数では減少しているものの、ホームページに毎月学芸員による谷崎関連の記事を掲載したり、新たに谷崎潤一郎新聞を発行するなどの取り組みを評価したもの)		青少年を対象にした分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって、谷崎文学を気軽に親しまきっかけとなることを目指す。収集資料等のデジタル化、データベース化を推進していきたい。					
掲載された広報媒体			協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標			
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちなび(文字データ放送)			アウトプット	総入館者数	13,570人	11,196人	増加	A		
あしやトライあんぐる(広報番組)	他の団体(団体名等)		アウトカム	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持			

基本的な施策	イ 高齢者、障がい者等の文化活動の充実
主な施策概要	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実
事業の具体例	◆市の文化施設のバリアフリー化の推進 ◆市の文化施設での託児支援等の取組 ◆市の文化施設での高齢者、障がい者の観覧料等の軽減

32	◆障がい児・者作品展										新規	継続	
	課名 障害福祉課 課長名 鳥越 雅也					事業の対象者 市民 事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他 障がい者児が作成した作品の展示		
	H25実施内容					課題					今後のビジョン		
平成25年11月8日～11月14日まで福祉センターにおいて第6回障がい児・者作品展を実施													
出展者のほとんどが団体を通じての展覧となっており、一般参加が少ない。 引き続き、広報で市民に周知することにより出展者数を増加させたい。													
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					自己評価		
広報あしや(市広報紙) ◎ まちなび(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)				区分		指標名		H24	H25	今後の目標	B
その他		他の団体(団体名等)		社会福祉協議会		アウトプット		出展者数		101人	108人	増加	
その他		他の団体(団体名等)				アウトカム		出展者数/障がい者手帳所持者数		2.60%	2.70%	増加	
33	◆高齢者証明書の発行										新規	継続	
	課名 高齢福祉課 課長名 木野 隆					事業の対象者 市内在住の65歳以上の方 事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容					課題					今後のビジョン		
市の文化施設での観覧料の軽減													
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					自己評価		
広報あしや(市広報紙) ◎ まちなび(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		生涯学習課		区分		指標名		H24	H25	今後の目標	A
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		発行人数		249人	233人	現状維持	
その他		他の団体(団体名等)				アウトカム							
34	◆敬老の日及び老人の日の指定公共施設の無料観覧										新規	継続	
	課名 高齢福祉課 課長名 木野 隆					事業の対象者 市内在住の65歳以上の方 事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容					課題					今後のビジョン		
敬老の日及び老人の日に市の文化施設での無料観覧													
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					自己評価		
広報あしや(市広報紙) ◎ まちなび(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		生涯学習課		区分		指標名		H24	H25	今後の目標	B
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット							
その他		他の団体(団体名等)				アウトカム							
35	◆芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院										新規	継続	
	課名 公民館 課長名 高田 浩志					事業の対象者 60歳以上の市民 事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容					課題					今後のビジョン		
芦屋川カレッジ 108人 カレッジ聴講生 93人 カレッジ大学院 101人													
カレッジ大学院で定員があるため入学できない人が出ている。 今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。													
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					自己評価		
広報あしや(市広報紙) ◎ まちなび(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		生涯学習課		区分		指標名		H24	H25	今後の目標	A
その他		他の団体(団体名等)		芦屋川カレッジ 校友会		アウトプット		事業内容及び参加人数		102人 111人 109人	108人 93人 101人	現状維持	
その他		他の団体(団体名等)				アウトカム							

36	◆阪神南青い鳥学級・くすの木学級の開催								新規	継続	◎	
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 尼崎市, 西宮市, 芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人				事業の目的			
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
3市による実行委員会方式により実施 青い鳥学級 西宮市が当番市 くすの木学級 芦屋市が当番市								尼崎市と西宮市と協力しながら, 今後も事業を実施する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		719		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット					A	
		視覚障がい者の団体 聴覚障がい者の団体				アウトカム						
37	◆障がい者サービス								新規	継続	◎	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 障がいのある人				事業の目的			
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
視覚・聴覚等に障がいのある方に向けて, 点字図書・録音図書の貸出や対面朗読サービスを行った。				障がい者サービスの周知				障がいのある方が気軽に図書館を利用できるよう, 今後も要望に応えていく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット	利用件数	185件	275件	増加	A	
図書館HP		あし笛 芦屋点字友の会				アウトカム	利用件数	185件	275件	増加		
38	◆その他【観覧料軽減措置等】								新規	継続	◎	
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民(特に高齢者等)				事業の目的			
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		◎ 学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎ その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
・高齢者, 障がい者等の観覧料軽減 ・「老人の日」「敬老の日」の高齢者入館料免除 ・「関西文化の日」への参加 ・「市民無料の日」の設定				公立施設として, 他施設と同様の観覧料軽減措置を行っていく必要はあるが, 指定管理者による管理運営施設であるため, 収益に影響があることも考えられ, そればかりをPRすることも矛盾があり, バランスが重要				高齢者には意欲を持ってなお学べる生涯学習の場となるよう, また障がい者には展示方法や車椅子の利用方法等に配慮した, 人に優しい施設を目指したい。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット	入館料無料設定日数	6日	5日	現状維持	B	
						アウトカム						
39	◆その他【観覧料軽減措置等】								新規	継続	◎	
	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民(特に高齢者等)				事業の目的			
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		◎ 発表の場の提供 市民活動の活性化		◎ 学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎ その他	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
・高齢者, 障がい者等の観覧料軽減 ・「老人の日」「敬老の日」の高齢者入館料免除 ・「関西文化の日」への参加				公立施設として, 他施設と同様の観覧料軽減措置を行っていく必要はあるが, 指定管理者による管理運営施設であるため, 収益に影響があることも考えられ, そればかりをPRすることも矛盾があり, バランスが重要				高齢者には意欲を持ってなお学べる生涯学習の場となるよう, また障がい者には展示方法や車椅子の利用方法等に配慮した, 人に優しい施設を目指したい。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット	入館料無料設定日数	4日	4日	現状維持	B	
						アウトカム						

基本的な施策	ウ 青少年の文化活動の充実
主な施策概要	【6】青少年の鑑賞機会の提供
事業の具体例	<ul style="list-style-type: none"> ◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施 ◆市立図書館での絵本展示等の実施 ◆市立美術博物館での人形劇の実施

40	◆こどもおはなしの会										新規	継続	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 小学生		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他	子どもたちに本の楽しさを伝える						
	H25実施内容 小学生以上の子どもを対象に昔話や創作の物語を語るおはなしの会を実施した。 平成25年度実施回数45回				課題 参加者の低年齢化への対応 おはなしボランティアの育成		今後のビジョン 子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていく。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					B		
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)	ムギの会 グループめるへん		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価				
まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 図書館HP	他の団体(団体名等)	アウトプット	参加人数	670人	685人	増加							
アウトカム		参加人数	670人	685人	増加								
41	◆打出分室こどもおはなしの会										新規	継続	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 3歳以上の子どもと保護者		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他	子どもたちに本の楽しさを伝える						
	H25実施内容 親子を対象としたおはなし・絵本の読み聞かせを行った。 平成25年度実施回数4回				課題 保護者への周知		今後のビジョン 子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていく。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					B		
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)	グループめるへん		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価				
まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 図書館HP	他の団体(団体名等)	アウトプット	参加人数	143人	97人	増加							
アウトカム		参加人数	143人	97人	増加								
42	◆親子で楽しむおはなしの会										新規	継続	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 3歳以上の子どもと保護者		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他	子どもたちに本の楽しさを伝える						
	H25実施内容 親子を対象としたおはなしの会を実施した。 平成25年度実施回数4回				課題 保護者への周知		今後のビジョン 子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていく。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					B		
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)	ムギの会 グループめるへん		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価				
まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 図書館HP	他の団体(団体名等)	アウトプット	参加人数	164人	119人	増加							
アウトカム		参加人数	164人	119人	増加								
43	◆人形劇の会										新規	継続	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の対象者 幼児～小学校低学年		事業の目的						◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他							
	H25実施内容 夏休み期間中に幼児～小学生を対象とした人形劇の実施した。 平成25年度実施回数1回				課題 参加者の低年齢化への対応		今後のビジョン 子どもたちを対象としたリクリエーションの場として、今後も開催していく。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					B		
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)			区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価				
まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他 図書館HP	他の団体(団体名等)	15	アウトプット	参加人数	128人	99人	現状維持						
アウトカム			参加人数	128人	99人	現状維持							

主な施策概要 【7】青少年の文化活動の体験機会の提供
 事業の具体例 ◆市立図書館での子どもや親子を対象とした読書に親しむための事業の実施
 ◆市立美術博物館での文化を体験する機会の提供や体験型のワークショップの実施

◆教育普及活動【ワークショップ等】										新規	継	統	
44	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美		事業の対象者 児童・生徒		事業の目的								◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供	◎	人材育成	◎	趣味・余暇の充実	◎	その他	◎	外国文化との交流	
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって、顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり 他8事業				子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって、気軽にアートに親しむきっかけとなることを目指す。								
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		32,367		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)	◎			【美術博物館関連経費一括計上】		アウトプット	参加者数	624人	963人	増加	A		
あしやトライあぐる(広報番組)	◎	他団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	12事業	12事業	増加			
45	◆絵本の会		事業の対象者 未就学児		事業の目的								◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他	子どもたちに本の楽しさを伝える		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	毎週土曜日に絵本の読み聞かせを行った。対象は3歳以上の子ども。平成25年度実施回数45回				参加者の低年齢化への対応				子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていく。				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加人数	837人	713人	増加	B		
あしやトライあぐる(広報番組)		他団体(団体名等)	ムギの会 グループめるへん			アウトカム	参加人数	837人	713人	増加			
46	◆親子で楽しむ絵本の会		事業の対象者 3歳～小学生とその保護者		事業の目的								◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他	子どもたちに本の楽しさを伝える		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	親子を対象とした絵本の読み聞かせを実施した。平成25年度実施回数4回				保護者への周知				子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていく。				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加人数	175人	129人	増加	B		
あしやトライあぐる(広報番組)		他団体(団体名等)	ムギの会 グループめるへん			アウトカム	参加人数	175人	129人	増加			
47	◆小学生の本の部屋		事業の対象者 小学生1年生～4年生		事業の目的								◎
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他	子どもたちに本の楽しさを伝える		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	子どもの読書週間にちなみ、小学1～4年生を対象に、「たんじょうび」をテーマにおはなしや本の紹介を行った。平成25年度実施回数1回								子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていく。				
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加人数	11人	23人	増加	A		
あしやトライあぐる(広報番組)		他団体(団体名等)	ムギの会 グループめるへん			アウトカム	参加人数	11人	23人	増加			

◆折り紙教室(子ども対象)										新規	継続
48	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子			事業の対象者 4歳～小学校低学年							◎
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他				
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
	夏休み期間中に子どもを対象とした折り紙教室の実施した。 平成25年度実施回数1回			参加者の低年齢化			子どもたちを対象としたリクリエーションの場として、今後も開催していく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他団体(団体名等) 図書館HP		22		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
						アウトプット	参加人数	57人	61人	現状維持	B
						アウトカム	参加人数	57人	61人	現状維持	

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

基本的な施策		エ 学校教育における文化活動の充実	
主な施策概要		【8】文化に関する体験学習等の充実	
事業の具体例		<ul style="list-style-type: none"> ◆学校への芸術家等派遣事業の実施 ◆本物の舞台芸術体験事業の実施 ◆学校と文化施設、芸術家等や文化団体と連携した教育の推進 ◆子どもの文化活動を支援する人材(ボランティア)リストの作成 	

◆わくわくオーケストラ事業										新規	継続
49	課名 学校教育課 課長名 北野 章			事業の対象者 中学1年生							◎
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他			
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
	全中学1年生が県の「わくわくオーケストラ」事業に参加し、県の芸術文化ホールで、本物のクラシック音楽に触れる体験を行っている。			県の事業であるため、実施内容等を主体的に変更することができない。			中学1年生が本物のクラシック音楽に触れる貴重な事業として、今後も継続参加するとともに、県への要望等を通じて、内容等の充実に努める。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他団体(団体名等) 県教育委員会				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
						アウトプット	実施率 (実施中学校数/全中学校数)	100%	100%	現状維持	A
						アウトカム	実施率 (実施中学校数/全中学校数)	100%	100%	現状維持	

◆次代を担う子どもの文化芸術体験事業										新規	継続
50	課名 学校教育課 課長名 北野 章			事業の対象者 中学生							◎
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他			
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」として文化庁が実施。学校にオーケストラや合唱、演劇等の芸術活動に携わっている個人、または団体を派遣する。			文化庁主催の事業であり、応募のあった学校の中から、文化庁が実施校を決定することから、実施の見通しが立てにくい。			今後も、各学校が積極的に事業に応募していけるよう、情報提供に努める。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他団体(団体名等) 文化庁				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
						アウトプット	実施校数	2校	2校	増加	B
						アウトカム	実施率 (実施小・中学校数/全小・中学校数)	18%	18%	増加	

◆自由研究・教育活動展[再掲]										新規	継続
51	課名 学校教育課 課長名 北野 章			事業の対象者 市民							◎
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他		
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
	幼小中学校の特色ある教育活動や子どもの作品を展示して学校間の交流を図るとともに、学校教育に対する市民の理解と関心を高める。			来場者をさらに増やすため、市民への更なる啓発が必要である。			学校園の教育活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実に努めていく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		市(課名) 他団体(団体名等)		293		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
						アウトプット	来場人数	約1,600人	約1,500人	増加	A
						アウトカム	学校園の参加率	100%	100%	現状維持	

◆文化財体験学習〔再掲〕										新規 継続	
52	課名 生涯学習課			事業の対象者 小学生とその保護者							
	課長名 長岡 一美			事業の目的							
	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	◎	人材育成	趣味・余暇の充実	その他				
	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	◎	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流					
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
夏休みに小学生を対象として、公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。			体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。			今後も、夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し、子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)	公民館			区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	実施回数	2回	2回	現状維持	A
あしやトライあんぐる(広報番組)	◎	他の団体(団体名等)	文化財市民ボランティア			アウトカム	実施回数(前年度比)	100%	100%	現状維持	
その他											

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

基本的な施策		オ 人材の育成に関する支援	
主な施策概要		【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	
事業の具体例		◆市民絵画展、芦屋市展、芦屋市造形教育展の開催	

◆市民会館文化事業〔再掲〕										新規 継続	
53	課名 市民センター			事業の対象者 市民、市民センター利用者							
	課長名 高田 浩志			事業の目的							
	鑑賞機会の提供	◎	発表の場の提供	◎	学習機会の提供	◎	人材育成	趣味・余暇の充実	◎		その他
	コミュニティの形成		市民活動の活性化	◎	伝統芸能等に触れ合う機会	◎	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流			
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
市民ステージ 11団体 市民ギャラリー 14団体 市民絵画展 52人						今後も継続して実施する。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
まちナビ(文字データ放送)				486		アウトプット	参加団体、人数	11団体 12団体 50人	11団体 14団体 52人	増加	A
あしやトライあんぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム					
その他											

◆展示事業【美術部門】〔再掲〕										新規 継続	
54	課名 美術博物館			事業の対象者 市民							
	課長名 長岡 一美			事業の目的							
	鑑賞機会の提供	◎	発表の場の提供	◎	学習機会の提供		人材育成	趣味・余暇の充実			その他
	コミュニティの形成		市民活動の活性化	◎	伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会	外国文化との交流			
	H25実施内容			課題			今後のビジョン				
【展示事業】 ・コレクション版画展 ・アートビクニックvol.3 マイホーム ユアホーム 展 ・第31回 芦屋市造形教育展 ・ゲンビ New era for creations 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957 展 他1事業			事業展開に係る経費は一部、入館料収入が充てられる為、収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。			公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)の充実を図っていきたい。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標					
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
まちナビ(文字データ放送)	◎			32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		アウトプット	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	A
あしやトライあんぐる(広報番組)	◎	他の団体(団体名等)	近隣の県・市町村教育委員会 30~50ヶ所			アウトカム	観覧者満足度		84.90%		
その他		新聞雑誌 フリーペーパー テレビ									

55	◆展示事業【公募展】【再掲】										新規	継続		
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民									
	事業の目的													
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他			
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流					
H25実施内容				課題				今後のビジョン						
【展示事業】 ・第62回 芦屋市展				応募点数に比し、入選点数の割合が高い為、より切磋琢磨して感性を磨くという意識の高揚を図り難いのではないか。				気軽に美術博物館に足を運ぶ機運を醸成する。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	観覧者数	—	1,330人	現状維持	A			
あしやトライあんぐる(広報番組)						アウトカム	応募点数	—	324	現状維持				
その他		新聞雑誌 フリーペーパー		他の団体(団体名等)										

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

基本的な施策		カ 文化団体の育成に関する支援	
主な施策概要			
【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進			
事業の具体例		<ul style="list-style-type: none"> ◆文化団体の活動に対する後援 ◆文化団体相互の連携の促進 ◆市の文化施設での社会教育関係団体等の使用料の軽減 	

56	◆芦屋市後援名義使用承認										新規	継続		
	課名 市民参画課 課長名 福島 貴美				事業の対象者 市民									
	事業の目的													
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他			
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流					
H25実施内容				課題				今後のビジョン						
文化に関する事業を行う団体に対して、芦屋市の後援名義の使用を承認し、文化振興を支援した。				申請を受け付けて、審査を行い承認書を送るまでの期間を短くしてきたが、取り組みを継続する。				要綱に基づき、関係部署や機関に照会し、慎重に審査する。引き続き、教育委員会の後援名義担当課との情報交換を行う。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)		市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	後援名義承認数	76件	93件	増加	A			
あしやトライあんぐる(広報番組)						アウトカム								
その他		新聞雑誌 フリーペーパー		他の団体(団体名等)										

57	◆芦屋市教育委員会後援名義の使用承認										新規	継続		
	課名 管理課 課長名 小川 智瑞子				事業の対象者 教育、学術、文化及びスポーツに関する事業を行う団体									
	事業の目的													
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他			
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流					
H25実施内容				課題				今後のビジョン						
教育、学術、文化およびスポーツに関する事業を行う団体に対し、芦屋市教育委員会の後援名義の使用を承認することにより、その事業を奨励し、教育、学術、文化及びスポーツ等の振興に寄与した。				H26から申請手続きについて、申請者の便宜を図るために一定の見直しを行った。市民活動の推進に寄与しており、成果は上がっていると考えられる。				引き続き迅速かつ適正な事務処理に努めたい。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)		市(課名)				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	後援名義の使用承認件数	124件	155件	増加	A			
あしやトライあんぐる(広報番組)						アウトカム	対前年度比	71.00%	125.00%	増加				
その他		新聞雑誌 フリーペーパー		他の団体(団体名等)										

58	◆社会教育関係団体支援・育成事業										新規	継続		
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 社会教育関係団体									
	事業の目的													
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他			
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流					
H25実施内容				課題				今後のビジョン						
市PTA協議会等13団体への事業運営支援として補助金を交付した。社会教育関係団体の追加登録を実施した。「社会教育関係団体の地域での役割」をテーマに研修会を行った。				社会教育関係登録団体の地域貢献に対する意識を持ってもらう。				各登録団体の意識が高まり、より活発な活動と地域への貢献ができるよう支援する。						
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		2,782		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	研修参加者数	189人	231人	増加	B			
あしやトライあんぐる(広報番組)						アウトカム	研修満足度	—	85.07%	増加				
その他		新聞雑誌 フリーペーパー		他の団体(団体名等)										

平成26年度 芦屋市文化振興基本計画評価票

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

施策の柱 ②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進

基本的な施策 ア 地域の伝統的な文化の保存等

主な施策概要 【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供

事業の具体例	◆歴史を学ぶ機会の提供 ◆伝統的な文化に触れる機会の提供 ◆市の文化施設での能・狂言などの伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保 ◆市の文化施設での地域の歴史・文化などの講座、講演会や資料展示の充実
--------	---

59	◆ルナ・ホール事業										新規	継続	◎
	課名 市民センター 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 ◎		発表の場の提供 ◎		学習機会の提供 ◎		人材育成 ◎		趣味・余暇の充実 ◎		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会 ◎		外国文化との交流 ◎				
H25実施内容				課題				今後のビジョン					
ルナ・ホール事業 13回				集客数では評価しにくい事業である。				芦屋の魅力を発掘・発信する事業を実施する。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんぐる(広報番組) ◎ その他 新聞(地方版)		市(課名) 生涯学習課 他団体(団体名等) 芦屋市少年少女合唱団 芦屋学園 御影高校		14,494		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	事業数	13回	13回	現状維持	A		
						アウトカム							

60	◆展示事業【歴史部門】【再掲】										新規	継続	◎
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 ◎		発表の場の提供		学習機会の提供 ◎		人材育成 ◎		趣味・余暇の充実 ◎		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会 ◎		外国文化との交流				
H25実施内容				課題				今後のビジョン					
【展示事業】 ・世界を魅了した「青」-浮世絵名品展 ・90年間のタイムカプセル 学習雑誌に見るこどもの歴史展 ・世界を魅了したやまとなでしこ-浮世絵美人帖展 他2事業				芦屋市の歴史を鳥瞰的に捉えられるよう、他市、他館との交流を通して、展示資料の借用等も視野に、その拡充も必要だと考える。				地域固有の伝統や文化が更に重要性を増していく中で、引き続き本市の歴史資料の収集・保存、文化財の保護、伝統文化の継承を図るとともに、これらを市民共通の資産として活用していきたい。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんぐる(広報番組) ◎ その他 新聞 学習雑誌 フリーペーパー テレビ		市(課名) 他団体(団体名等) 近隣の県・市町村 教育委員会 30~50ヶ所		32,367 【美術博物館関連 経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	B		
						アウトカム	事業本数	6事業	4事業	増加			

61	◆教育普及活動【展覧会関連事業】【再掲】										新規	継続	◎
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 ◎		発表の場の提供		学習機会の提供 ◎		人材育成 ◎		趣味・余暇の充実 ◎		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会 ◎		外国文化との交流				
H25実施内容				課題				今後のビジョン					
・学芸員によるギャラリートーク 他5事業 ・対談「版画の魅力-松谷 武判」 ・トークイベント「浅田ホーム×コアホーム=アットホーム」 ・「学習雑誌にみるこどもの歴史」連 オープニング記念展示解説会 他6事業				事業展開に係る経費は一部、入館料収入が充てられる為、収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。				公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリートーク等)の充実を図っていきたい。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんぐる(広報番組) ◎ その他		市(課名) 他団体(団体名等)		32,367 【美術博物館関連 経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
						アウトプット	参加者数	792人	679人	増加	A		
						アウトカム	事業本数	16事業	15事業	現状維持			

62	◆教育普及活動【講演、講座等】【再掲】										新規	継続	◎	
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他					
	H25実施内容				課題			今後のビジョン						
<p>【講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浮世絵と青」 ・「青の文化史ー日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」 ・「現代美術懇談会(ゲンビ)ー“抽象”と“総合”が目指したもの」他2事業 <p>【講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文書講座(『撰津名所図絵』を読む) ・古文書講座(浮世絵から読み解く江戸時代の社会) 											展示事業の大半が一般社会人を対象とした企画となっている。		公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)の充実を図っていきたい。	
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)	◎					アウトプット	参加者数	246人	245人	現状維持	B			
あしやトライあぐる(広報番組)	◎	他の団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	12事業	7事業	増加				
その他														
63	◆教育普及活動【ワークショップ等】【再掲】										新規	継続	◎	
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 児童・生徒		事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他			
	H25実施内容				課題			今後のビジョン						
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって、顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり 他8事業 											子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって、気軽にアートに親しむきっかけとなることを目指す。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)	◎					アウトプット	参加者数	624人	963人	増加	A			
あしやトライあぐる(広報番組)	◎	他の団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	12事業	12事業	増加				
その他														
64	◆講座・講演【再掲】										新規	継続	◎	
	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的							
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他			
	H25実施内容				課題			今後のビジョン						
<p>【文学館講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源氏物語講座 ・「枕草子」を読む講座 ・黒田官兵衛 人と哲学 ・初歩からの朗読講座 他20講座 <p>【1日特別講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墨彩画一日体験講座 <p>【現地講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎潤一郎旧邸めぐり <p>【朗読会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1～第4回 <p>【展示関連イベント・講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別講座「谷崎文学と歌舞伎」他1事業 											文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび、市民がその文学により一層親しむ場とするともに、谷崎文学の研究の拠点として、引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り、これらを市民共通の資産として活用していきたい。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標								
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		6,155		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価			
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	受講者数・参加者数	3,089人	2,698人	増加	A			
あしやトライあぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム	講座・講演本数	31	32	現状維持				
その他	読売新聞													

◆その他事業〔再掲〕										新規	継続	
65	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的					◎
	鑑賞機会の提供	◎	発表の場の提供	◎	学習機会の提供	◎	人材育成	◎	趣味・余暇の充実	◎	その他	
	コミュニティの形成		市民活動の活性化	◎	伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流			
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
	【特別イベント】 ・朗読シアター「猫と庄造と二人のおんな」、「吉野葛」 ・谷崎映画名作選「卍」上映会 ・朗読演劇とトーク 【特別行事】 ・残月祭								文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび、市民がその文学により一層親しむ場とするともに、谷崎文学の研究の拠点として、引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り、これらを市民共通の資産として利活用していきたい。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		2,717		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
まちナビ(文字データ放送)				【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】		アウトプット	参加者数	1,592人	914人	増加	B	
あしやトライあんどぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)	大阪ドイソ文化センター			アウトカム	事業本数	4事業	5事業	増加		
その他												

◆展示事業【展示室】〔再掲〕										新規	継続	
66	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的					◎
	鑑賞機会の提供	◎	発表の場の提供	◎	学習機会の提供	◎	人材育成	◎	趣味・余暇の充実	◎	その他	
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流			
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
	・春の特別展「猫を愛した作家たち～夏目漱石、内田百閒、大佛次郎、そして谷崎～」…猫を愛し、その魅力を小説に描いた作家の生原稿や剥製等約100点を公開。 ・夏の通常展「谷崎潤一郎 人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を、遺愛品、文学作品、書簡、写真などの資料を通して紹介。 ・秋の特別展「狐と谷崎、そして歌舞伎」…歌舞伎に登場する狐から母子の情愛や女性への憧れを育む。錦絵、押絵、舞台写真など100点を展示。 ・冬の通常展「谷崎潤一郎 人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を、遺愛品、文学作品、書簡、写真などの資料を通して紹介。				繰返し訪れても新たな発見が得られるよう、引き続き、限られた館蔵品を活用した季節感や話題性のある展示更新を行い、その周知を図る。				文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび、市民がその文学により一層親しむ場とするともに、谷崎文学の研究の拠点として、引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り、これらを市民共通の資産として利活用していきたい。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)		2,717		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
まちナビ(文字データ放送)				【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】		アウトプット					B	
あしやトライあんどぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)	虚子記念文学館 大佛次郎記念館 神奈川近代文学館 早稲田大学演劇博物館 国立劇場 池田文庫			アウトカム	事業本数	4事業	4事業	現状維持		
その他												

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

主な施策概要		【12】文化財保護の充実等	
事業の具体例	◆文化財の保存・整備と活用 ◆文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施 ◆市立美術博物館での文化財等に関する資料の収集、保管、展示及び研究 ◆広報紙、ホームページ等による文化財に関する情報の提供		

◆埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行										新規	継続	
67	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的					◎
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他	
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会	◎	外国文化との交流			
	H25実施内容				課題				今後のビジョン			
	市内で発掘調査が実施された埋蔵文化財の記録を公表し、将来に残すために、発掘調査報告書を3冊刊行した。				埋蔵文化財発掘調査報告書の編集・作成には、膨大な労力が必要であるために、作業の軽減を図り、コスト削減に努める必要がある。				埋蔵文化財発掘調査報告書の編集・作成の労力を軽減するために、主要なものを掲載するように努めページ数を削減する。			
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		712		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価	
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	埋蔵文化財発掘調査に対する報告書の刊行率	100%	100%	減少	A	
あしやトライあんどぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)				アウトカム	埋蔵文化財発掘調査に対する報告書の刊行率(前年度比)	100%	100%	減少		
その他												

68	◆遺跡の環境整備等							新規	継続	◎						
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民			事業の目的								
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他									
	H25実施内容				課題			今後のビジョン								
市内遺跡を良好な状態で保存継承していくため、専門業者による草刈や樹木の伐採等、環境整備を実施した他、ボランティアによる、清掃作業とミニ講話を併せた催しも実施した。				草刈の実施時期を見極め、遺跡が常に美しい状態に保たなければならない。			常に遺跡が美しく整備され、見学者が気持ちよく見学できるように、遺跡の草刈を実施する。									
掲載された広報媒体 広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		協働した団体 市(課名) 他団体(団体名等)		H25事業費(千円) 945		評価指標		区 分		指標名		H24	H25	今後の目標	自己評価	
						アウトプット		実施回数		7回		6回		現状維持		B
						アウトカム		実施回数(前年度比)		100%		86%		現状維持		
69	◆会下山遺跡説明板の設置							新規	継続	◎						
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民			事業の目的								
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他									
	H25実施内容				課題			今後のビジョン								
会下山遺跡の見学者が遺跡の概要を理解できるように、説明板を新設及び取り替えた。				会下山遺跡では、経年により解説板が劣化するので、その都度取替えが必要である。			平成25年度に会下山遺跡の説明板は、すべて取替え等が完了したので、しばらくは新設及び取替えの必要はない。									
掲載された広報媒体 広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		協働した団体 市(課名) 他団体(団体名等)		H25事業費(千円) 185		評価指標		区 分		指標名		H24	H25	今後の目標	自己評価	
						アウトプット		新設及び取替えの説明板数		10回		8回		減少		A
						アウトカム		新設及び取替えの説明板数(前年度比)		100%		80%		減少		
70	◆文化財関連講座							新規	継続	◎						
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民			事業の目的								
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他									
	H25実施内容				課題			今後のビジョン								
【公民館講座「芦屋から大坂城の謎を解く」の開催】 芦屋にある徳川大坂城東六甲採石場と大坂城の関係について8回の講座を開催した。				一般の方々が参加しやすいテーマを見出すこと。			今後も、市の歴史や文化財に関連したテーマを見出し、講座を開催していく。その際には、歴史ファンを対象にした極めて専門的な内容ではなく、市民が興味を持ち、理解できるわかりやすいテーマや内容にすることを心がける。									
掲載された広報媒体 広報あしや(市広報紙)◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		協働した団体 市(課名) 公民館 他団体(団体名等)		H25事業費(千円)		評価指標		区 分		指標名		H24	H25	今後の目標	自己評価	
						アウトプット		講座の実施回数		6回		8回		現状維持		A
						アウトカム		講座の実施回数(前年度比)		100%		133%		現状維持		
71	◆芦屋市文化遺産継承・活性化事業							新規	継続	◎						
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市内の文化遺産を継承している団体			事業の目的								
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他								
	H25実施内容				課題			今後のビジョン								
市が実施計画を策定し、実行委員会が平成25年度文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)交付を申請した。補助金額は、9,492千円。				補助事業がいつまで継続するのかわからない。			今後も補助事業が続くのなら、市内の文化遺産を継承する団体に対して活動を支援できるように、事業を継続する。									
掲載された広報媒体 広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組) その他		協働した団体 市(課名) 芦屋市文化遺産継承・活性化事業実行委員会 他団体(団体名等)		H25事業費(千円) 9,492(補助金)		評価指標		区 分		指標名		H24	H25	今後の目標	自己評価	
						アウトプット		申請件数		0件		1件		現状維持		A
						アウトカム		申請件数(前年度比)		0%		100%		現状維持		

72	◆文化財関連事業の情報提供										新規	継続	◎
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	文化財関連事業を開催する際には、市民に周知するために、事前に「広報あしや」及びホームページに案内を掲載している。				文化財関連事業を一人でも多くの市民に周知する。				今後も文化財関連事業を開催する際には、一人でも多くの市民に知っていただけるように、「広報あしや」及びホームページ等に案内を掲載していく。必要であれば、新聞等のメディアも活用する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名) 広報国際交流課		206		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット	「広報あしや」及びホームページの掲載率	100%	100%	現状維持	A		
						アウトカム	「広報あしや」及びホームページの掲載率(前年度比)	100%	100%	現状維持			
73	◆文化財関連冊子の刊行										新規	継続	◎
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	市内の文化財について、市民を対象にわかりやすい冊子を刊行し、配布する。				市民に市の歴史や文化財を学んでいただくための冊子のテーマの選択や、内容の工夫が必要である。				市内の文化財の存在や内容について、市民に知っていただけるように、今後もわかりやすい内容で継続して刊行する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名)		206		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット	刊行数	1刊	1刊	現状維持	A		
						アウトカム	刊行数(前年度比)	100%	100%	現状維持			
74	◆文化財関連リーフレットの刊行										新規	継続	◎
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	市内の文化財について、市民を対象にわかりやすいリーフレットを刊行し、配布する。				市民に市の歴史や文化財を学んでいただくためのリーフレットのテーマの選択や、内容の工夫が必要である。				市内の文化財の存在や内容について、市民に知っていただけるように、今後もわかりやすい内容で継続して刊行する。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名)		55		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット	刊行数	1刊	1刊	現状維持	A		
						アウトカム	刊行数(前年度比)	100%	100%	現状維持			
75	◆市指定文化財の指定										新規	継続	◎
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	寺田遺跡出土の黄釉鉄絵陶器盤の学術的価値を評価し、市民の宝として将来に残されるように、市指定文化財に指定した。				市指定文化財等に指定すべき文化財を見出し、継続的に指定していく必要がある。				市内の学術的価値の高い文化財を見出し、計画的に文化財を指定していく。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんどぐる(広報番組)		市(課名)		117		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
その他 新聞(神戸新聞)		他の団体(団体名等)				アウトプット	文化財保護審議会の開催回数	2回	2回	現状維持	A		
						アウトカム	文化財保護審議会の開催回数	100%	100%	現状維持			

◆文化財体験学習										新規 継続							
76	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美			事業の対象者 小学生とその保護者		事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他						
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
	夏休みに小学生を対象として、公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。				体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。				今後も、夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し、子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。								
掲載された広報媒体			協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標										
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		公民館		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット		実施回数		2回		2回		現状維持		A	
あしやトライあんぐる(広報番組)		他の団体(団体名等)		文化財 市民ボランティア		アウトカム		実施回数(前年度比)		100%		100%		現状維持			
◆展示事業【歴史部門】										新規 継続							
77	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美			事業の対象者 市民		事業の目的											
	鑑賞機会の提供 ◎		発表の場の提供		学習機会の提供 ◎		◎人材育成 ◎歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 ◎外国文化との交流		その他						
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
	【展示事業】 ・世界を魅了した「青」-浮世絵名品展 ・90年間のタイムカプセル 学習雑誌に見るこどもの歴史展 ・世界を魅了したやまとなでしこ-浮世絵美人帖展 他2事業				芦屋市の歴史を鳥瞰的に捉えられるよう、他市、他館との交流を通して、展示資料の借用等も視野に、その拡充も必要だと考える。				地域固有の伝統や文化が更に重要性を増していく中で、引き続き本市の歴史資料の収集・保存、文化財の保護、伝統文化の継承を図るとともに、これらを市民共通の資産として利活用していきたい。								
掲載された広報媒体			協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標										
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		近隣の県・市町村 教育委員会 30~50ヶ所		32,367 【美術館開館関連 経費一括計上】		区分		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送) ◎								アウトプット		観覧者数		17,470人		17,968人		増加	
あしやトライあんぐる(広報番組) ◎		他の団体(団体名等)						アウトカム		事業本数		6事業		4事業			
その他 新聞 学習雑誌 フリーペーパー テレビ																	

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

基本的な施策		イ 国内及び国外との交流の促進	
主な施策概要		【13】国際交流の推進	
事業の具体例		◆海外の姉妹都市との交流事業	

◆姉妹都市交流事業										新規 継続							
78	課名 広報国際交流課 課長名 萩原 裕子			事業の対象者 市内在住の高校生以上の学生		事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流 ◎		その他						
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
	姉妹都市学生親善使節の相互派遣				姉妹都市モンテペロ市についての市民への周知				姉妹都市モンテペロ市のパンフレットを作成して市民に姉妹都市を広く周知する。								
掲載された広報媒体			協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標										
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		NPO法人芦屋市 国際交流協会		900		区分		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)								アウトプット		歴代の芦屋市とモンテペロ市の学生親善使節の人数		190人		194人		増加	
あしやトライあんぐる(広報番組) ◎		他の団体(団体名等)						アウトカム		姉妹都市学生親善使節交換事業参加者数		509人		621人		増加	
その他																	

主な施策概要 【14】多文化理解の推進 事業の具体例 ◆市立潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業の実施											
79	◆潮芦屋交流センター事業 新規 継続										
	課名 広報国際交流課 課長名 萩原 裕子				事業の対象者 市民						
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	その他					
	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	◎					
	H25実施内容			課題		今後のビジョン					
	潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業			潮芦屋交流センターの市民への周知		潮芦屋交流センター壁面に看板を設置したり、パンフレット改定版や事業案内チラシを各施設に配布するなどして潮芦屋交流センターの周知に力を入れる。					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標					
	広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)	NPO法人芦屋市国際交流協会	21,400	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
	まちナビ(文字データ放送)	◎				アウトプット	潮芦屋交流センター自主事業参加者数	4,366人	4,265人	増加	B
あしやトライあんどぐる(広報番組)	◎	他の団体(団体名等)	アウトカム			潮芦屋交流センター自主事業参加者数の割合(%) (当該年度/平成23年度)	126%	123%	増加		

基本的な施策 ウ 地域の文化資源の活用 主な施策概要 【15】文化資源を活用した地域の活性化 事業の具体例 ◆アートフリーマーケット等による芸術家等の育成支援 ◆市の文化施設の地域のにぎわい創出等への活用 ◆広報紙、ホームページ等による行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信											
80	◆芦屋さくらまつりの開催 新規 継続										
	課名 市民参画課 課長名 福島 貴美				事業の対象者 市民						
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供	◎	発表の場の提供	◎	学習機会の提供	◎	人材育成	◎	趣味・余暇の充実	◎	
	コミュニティの形成	◎	市民活動の活性化	◎	伝統芸能等に触れ合う機会	◎	歴史に触れ合う機会	◎	外国文化との交流	◎	
	H25実施内容			課題		今後のビジョン					
	芦屋さくらまつりへの支援・協力を通じて市民手づくりの、まつりを開催する予定であったが、荒天の為、中止となった。			限られた費用の中での安全対策の強化		安心・安全・清潔なまつりを継続して開催する。					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標					
	広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)	市内各課	3,490	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
	まちナビ(文字データ放送)	◎		芦屋さくらまつり協議会		アウトプット	参加人数	17,500人	0人	増加	A
あしやトライあんどぐる(広報番組)	◎	他の団体(団体名等)	アウトカム								

81	◆あしや秋まつりの開催 新規 継続										
	課名 経済課 課長名 近田 真				事業の対象者 市民						
	事業の目的										
	鑑賞機会の提供	◎	発表の場の提供	◎	学習機会の提供	◎	人材育成	◎	趣味・余暇の充実	◎	
	コミュニティの形成	◎	市民活動の活性化	◎	伝統芸能等に触れ合う機会	◎	歴史に触れ合う機会	◎	外国文化との交流	◎	
	H25実施内容			課題		今後のビジョン					
	平成25年10月13日(日)に実施(だんじりパレード、パトントワリング、吹奏楽演奏等及び市民団体出店)			市外に向けた情報発信(あしや三大祭紹介チラシの作成等)		ルミナリエ等市外で行われるイベントにおいて祭りの紹介を行うなど広報活動を強化していく。					
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標					
	広報あしや(市広報紙)	◎	市(課名)	あしや秋まつり協議会	2,506	区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
	まちナビ(文字データ放送)	◎	他の団体(団体名等)			アウトプット	参加者	5,500人	6,000人	増加	A
あしやトライあんどぐる(広報番組)	◎		アウトカム			参加者/芦屋市人口(各年度10月)	5.69% (10月末人口96613人)	6.21% (10月末人口96659人)	増加		

◆教育普及活動【その他事業】										新規 継続								
82	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他							
	H25実施内容				課題				今後のビジョン									
	・春・秋の芦屋アートバザール(自主事業) ・美博寄席 ・朗読と音楽で綴る宮沢 賢治の世界 ・東日本大震災追悼コンサート 他5事業								視覚のみならず、聴覚にも心地良い文化施設として、ミュージアムコンサート等を充実させていきたい。子どもに限定した創作活動から生まれる触れ合いを体感できる事業の展開(アートバザール子ども版)									
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
	広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
	その他 新聞		他の団体(団体名等)				アウトプット		参加者数		4,707人		5,895人		増加		A	
							アウトカム		事業本数		6事業		10事業		現状維持			

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

基本的な施策		エ 良好な景観の形成	
主な施策概要		【16】良好な景観の形成	
事業の具体例		◆全市を景観法で定める「景観地区」の指定による魅力ある景観づくりの推進 ◆景観地区のうち、特徴のある景観を有する地域は「特別景観地区」の指定により、良好な景観の保全・育成の推進	

◆まちの景観形成等に関する事務										新規 継続								
83	課名 都市計画課 課長名 東 実				事業の対象者 市民		事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		地域の良好な景観形成					
	H25実施内容				課題				今後のビジョン									
	景観行政団体への移行を前提とした各方面との調整及び都市景観条例の改正等。 大規模建築物における景観協議の実施により、地域の良好な景観形成を誘導。				良好な景観形成を目的とした効果的な計画誘導を行うための諸制度の整理				景観計画の策定、屋外広告物条例の策定、南芦屋浜を特別景観地区に指定									
	掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
	広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名)		2,345		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
	その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		総合計画アンケートにおける満足度(満足2, やや満足1, 普通0, やや不満-1, 不満-2)		0.9				増加		A	
							アウトカム		総合計画アンケートにおける満足度(満足2, やや満足1, 普通0, やや不満-1, 不満-2)		0.9				増加			

平成26年度 芦屋市文化振興基本計画評価票

S:計画以上の成果をあげた A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない

施策の柱 ③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進												
基本的な施策 ア 市の文化施設の充実												
主な施策概要 【17】市の文化施設の機能の充実												
事業の具体例 ◆文化施設の特性に応じた芸術家等の人材の育成、教育プログラム、アウトリーチ活動等の実施 ◆文化施設における参加体験型(ワークショップ)事業の実施 ◆文化施設の特性に応じたプロデュース機能の充実及び活用の促進 ◆文化施設の機能の向上												
84	◆文化財体験学習〔再掲〕 新規 継続 ◎											
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 小学生とその保護者							
	事業の目的											
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎ その他	
	H25実施内容				課題			今後のビジョン				
夏休みに小学生を対象として、公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。				体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。			今後も、夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し、子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名) 公民館		7,011		区分 指標名		H24		H25	今後の目標	自己評価
その他 市広報チャンネル		他の団体(団体名等) 文化財市民ボランティア				アウトプット 実施回数		2回		2回	現状維持	A
						アウトカム 実施回数		100		100	現状維持	
85	◆講演・講座・学級・教室等の開催〔再掲〕 新規 継続 ◎											
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民							
	事業の目的											
	◎ 鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		◎ 発表の場の提供 市民活動の活性化		◎ 学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎ その他	
	H25実施内容				課題			今後のビジョン				
講座 20講座, 5,793人 日本語学級 47回, 207人 講演会セミナー等 15回, 3,296人 公民館子ども教室 20回, 610人							今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) ◎ まちナビ(文字データ放送) ◎ あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名) 生涯学習課 芦屋病院 美術博物館 選挙管理委員会		7,011		区分 指標名		H24		H25	今後の目標	自己評価
その他 新聞(地方版)		他の団体(団体名等) NHK 芦屋川カレッジ学友会 芦屋市PTA協議会 芦屋ユネスコ協会 芦屋大学 国立民族学博物館 ヨドコウ迎賓館				アウトプット 事業内容及び参加人数		4,678人 210人 2,518人 401人		5,793人 207人 3,296人 610人	現状維持	A
						アウトカム						
86	◆公民館図書室の運営〔再掲〕 新規 継続 ◎											
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者							
	事業の目的											
	◎ 鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		◎ 発表の場の提供 市民活動の活性化		◎ 学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		◎ 趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎ その他	
	H25実施内容				課題			今後のビジョン				
図書貸出者数 13,149人							図書館と連携しながら今後も事業を実施する。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標						
広報あしや(市広報紙) まちナビ(文字データ放送) あしやトライあんぐる(広報番組)		市(課名) 図書館		1,677		区分 指標名		H24		H25	今後の目標	自己評価
その他		他の団体(団体名等)				アウトプット		12,485人		13,149人	現状維持	A
						アウトカム						

87	◆常設展示事業・公民館ギャラリー〔再掲〕										新規	継続	◎				
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者						事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎		その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
常設展示 5回 公民館ギャラリー 20グループ								今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。									
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		483		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)		生涯学習課				アウトプット		常設展示の内容と回数		6回		5回		現状維持		A	
あしやトライあんぐる(広報番組)						他の団体(団体名等)		アウトカム									
その他 新聞(地方版)																	
88	◆公民館音楽会〔再掲〕										新規	継続	◎				
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 市民, 市民センター利用者						事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎		その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
公民館音楽会 5回, 580人								今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。									
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		500		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)		生涯学習課				アウトプット		音楽会の内容と回数		5回		5回		現状維持		A	
あしやトライあんぐる(広報番組)						他の団体(団体名等)		アウトカム									
その他																	
89	◆芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院〔再掲〕										新規	継続	◎				
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 60歳以上の市民						事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎		その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
芦屋川カレッジ 108人 カレッジ聴講生 93人 カレッジ大学院 101人								今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。									
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		7,000		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)		生涯学習課				アウトプット		事業内容及び参加人数		102人 111人 109人		108人 93人 101人		現状維持		A	
あしやトライあんぐる(広報番組)						他の団体(団体名等)		芦屋川カレッジ校友会									
その他																	
90	◆阪神南青い鳥学級・くすの木学級の開催〔再掲〕										新規	継続	◎				
	課名 公民館 課長名 高田 浩志				事業の対象者 尼崎市, 西宮市, 芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人						事業の目的						
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		◎ 人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		◎		その他				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン								
3市による実行委員会方式により実施 青い鳥学級 西宮市が当番市 くすの木学級 芦屋市が当番市								尼崎市と西宮市と協力しながら, 今後も事業を実施する。									
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		719		区分		指標名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)		視覚障がい者の団体 聴覚障がい者の団体				アウトプット										A	
あしやトライあんぐる(広報番組)						他の団体(団体名等)		アウトカム									
その他																	

◆教育普及活動【展覧会関連事業】【再掲】										新規	継続		
91	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員によるギャラリートーク 他5事業 ・対談「版画の魅力ー松谷 武判」 ・トークイベント「浅田ホーム×ユアホーム＝アットホーム」 ・「学習雑誌にみるこどもの歴史」連 オープニング記念展示解説会 他6事業 				事業展開に係る経費は一部、入館料収入が充てられる為、収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。				公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)の充実を図っていきたい。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加者数	792人	679人	増加	A		
あしやトライあんぐる(広報番組)		他団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	16事業	15事業	現状維持			
◆教育普及活動【講演, 講座等】【再掲】										新規	継続		
92	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	<ul style="list-style-type: none"> 【講演会】 ・「浮世絵と青」 ・「青の文化史ー日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」 ・「現代美術懇談会(ゲンビ)ー“抽象”と“総合”が目指したもの」 他2事業 【講座】 ・古文書講座(『摂津名所図絵』を読む) ・古文書講座(浮世絵から読み解く江戸時代の社会) 				展示事業の大半が一般社会人を対象とした企画となっている。				公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)の充実を図っていきたい。				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加者数	246人	245人	現状維持	B		
あしやトライあんぐる(広報番組)		他団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	12事業	7事業	増加			
◆教育普及活動【ワークショップ等】【再掲】										新規	継続		
93	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 児童・生徒		事業の目的						
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって、顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり 他8事業 				子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって、気軽にアートに親しむきっかけとなることを目指す。								
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加者数	624人	963人	増加	A		
あしやトライあんぐる(広報番組)		他団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	12事業	12事業	増加			
◆教育普及活動【その他事業】【再掲】										新規	継続		
94	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民		事業の目的						
	鑑賞機会の提供		発表の場の提供		学習機会の提供		人材育成		趣味・余暇の充実		その他		
	コミュニティの形成		市民活動の活性化		伝統芸能等に触れ合う機会		歴史に触れ合う機会		外国文化との交流				
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
	<ul style="list-style-type: none"> ・春・秋の芦屋アートバザール(自主事業) ・美博寄席 ・朗読と音楽で綴る宮沢 賢治の世界 ・東日本大震災追悼コンサート 他5事業 								視覚のみならず、聴覚にも心地良い文化施設として、ミュージアムコンサート等を充実させていきたい。子どもに限定した創作活動から生まれる触れ合いを体感できる事業の展開(アートバザール子ども版)				
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		32,367 【美術博物館関連経費一括計上】		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	参加者数	4,707人	5,895人	増加	A		
あしやトライあんぐる(広報番組)		他団体(団体名等)				アウトカム	事業本数	6事業	10事業	現状維持			

主な施策概要 【18】 運営方法の点検等
事業の具体例 ◆施設利用者を対象としたアンケート調査の実施
 ◆施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証

95	◆施設の維持管理										新規	継続	◎		
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民, 詩を親しむ人										
	事業の目的														
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成			発表の場の提供 市民活動の活性化			学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会			人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容						課題			今後のビジョン					

96	◆指定管理者制度導入施設の維持管理										新規	継続	◎		
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民										
	事業の目的														
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成			発表の場の提供 市民活動の活性化			学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会			人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容						課題			今後のビジョン					

掲載された広報媒体				協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
-----------	--	--	--	--------	--	------------	------	--	--	--	----	-----	-----	-----	-------	------

基本的な施策 イ 学校施設、公共施設の活用
主な施策概要 【19】 学校施設、公共施設の活用
事業の具体例 ◆学校施設、公共施設の文化活動の場としての活用

97	◆学校園施設目的外使用の使用許可										新規	継続	◎		
	課名 管理課 課長名 小川 智瑞子				事業の対象者 教育, 学術, 文化及びスポーツに関する事業を行う団体										
	事業の目的														
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成			発表の場の提供 市民活動の活性化			学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会			人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他 交流機会の促進	
	H25実施内容						課題			今後のビジョン					

98	◆コミュニティ・スクール関係事業										新規	継続	◎		
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市民										
	事業の目的														
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成			発表の場の提供 市民活動の活性化			学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会			人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他	
	H25実施内容						課題			今後のビジョン					

掲載された広報媒体				協働した団体		H25事業費(千円)	評価指標				区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
-----------	--	--	--	--------	--	------------	------	--	--	--	----	-----	-----	-----	-------	------

基本的な施策		ウ 情報の収集等							
主な施策概要		【20】情報の収集等							
事業の具体例		◆広報紙、ホームページや電子メールを活用した文化情報の提供 ◆保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用							
99	◆文化財関連事業の情報提供〔再掲〕			新規 継続 ◎					
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美		事業の対象者 市民						
	事業の目的								
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	人材育成 歴史に触れ合う機会 ◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	その他			
	H25実施内容		課題		今後のビジョン				
文化財関連事業を開催する際には、市民に周知するために、事前に「広報あしや」及びホームページに案内を掲載している。		文化財関連事業を一人でも多くの市民に周知する。		今後も文化財関連事業を開催する際には、一人でも多くの市民に知っていただけるように、「広報あしや」及びホームページ等に案内を掲載していく。必要であれば、新聞等のメディアも活用する。					
掲載された広報媒体		協働した団体	H25事業費(千円)	評価指標					
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)	広報国際交流課		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
まちナビ(文字データ放送)				アウトプット	「広報あしや」及びホームページの掲載率	100%	100%	現状維持	A
あしやトライあんぐる(広報番組)				アウトカム	「広報あしや」及びホームページの掲載率(前年度比)	100%	100%	現状維持	
その他	他の団体(団体名等)								
100	◆その他【広報】〔再掲〕			新規 継続 ◎					
	課名 美術博物館 課長名 長岡 一美		事業の対象者 市民						
	事業の目的								
	鑑賞機会の提供 ◎	発表の場の提供 ◎	学習機会の提供 ◎	人材育成 ◎	趣味・余暇の充実	その他			
	コミュニティの形成 ◎	市民活動の活性化 ◎	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流				
H25実施内容		課題		今後のビジョン					
・広報紙、ホームページ、ツイッター等様々な媒体による幅広い情報の提供				事業毎に利用者アンケートを実施し、そのニーズの把握に努めると共に自己評価を行い、今後の事業展開に反映する等市民に親しまれる美術博物館を目指している。収蔵資料等のデジタル化、データベース化を推進していきたい。					
掲載された広報媒体		協働した団体	H25事業費(千円)	評価指標					
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)			区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
まちナビ(文字データ放送) ◎				アウトプット	総入館者数	27,540人	33,040人	増加	A
あしやトライあんぐる(広報番組) ◎				アウトカム	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持	
その他	他の団体(団体名等)								
101	◆その他【広報】〔再掲〕			新規 継続 ◎					
	課名 谷崎潤一郎記念館 課長名 長岡 一美		事業の対象者 市民						
	事業の目的								
	鑑賞機会の提供 ◎	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成 ◎	趣味・余暇の充実 ◎	その他			
	コミュニティの形成	市民活動の活性化 ◎	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流				
H25実施内容		課題		今後のビジョン					
・広報紙、ホームページ、新聞等様々な媒体による幅広い情報の提供		集客につながる、積極的な広報活動を行なうこと(評価にあたっては、前年比の総入館者数では減少しているものの、ホームページに毎月学芸員による谷崎関連の記事を掲載したり、新たに谷崎潤一郎新聞を発行するなどの取り組みを評価したもの)		青少年を対象にした分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって、谷崎文学を気軽に親しまきっかけとなることを目指す。収蔵資料等のデジタル化、データベース化を推進していきたい。					
掲載された広報媒体		協働した団体	H25事業費(千円)	評価指標					
広報あしや(市広報紙) ◎	市(課名)			区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価
まちナビ(文字データ放送)				アウトプット	総入館者数	13,570人	11,196人	増加	A
あしやトライあんぐる(広報番組)				アウトカム	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持	
その他	新聞	他の団体(団体名等)							

主な施策概要 【21】 利便性の向上
事業の具体例 ◆施設利用予約システムの運用

102	◆市民センター管理運営〔再掲〕										新規	継続	
	課名 市民センター 課長名 高田 浩志				事業の 対象者 市民, 市民センター利用者								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
全開室数 34,873室中, 使用件数 15,649室 インターネットからの貸室の仮予約を引き続き実施。								民間事業者への委託内容を精査し、今後も継続して実施する。貸室管理をしているコンピュータシステムを他の施設とともに改修する。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		105,212		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	使用件数	14,897件	15,649件	現状維持	A		
あしやトライあんどぐる(広報番組)						アウトカム							
その他		他の団体(団体名等)											

103	◆インターネット予約										新規	継続	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の 対象者 市民等								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
インターネット予約システムにカート方式を導入した。				利便性向上				利用しやすいシステム構築を目指す。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙) ◎		市(課名)		2,357		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	オンライン予約件数	97,181件	100,260件	増加	A		
あしやトライあんどぐる(広報番組)						アウトカム	オンライン予約率	72.10%	73.50%	増加			
その他		図書館HP		他の団体(団体名等)									

主な施策概要 【22】 文化にかかわる資料、作品、情報等の保存
事業の具体例 ◆市の文化施設における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進

104	◆収蔵品の管理										新規	継続	
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の 対象者								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の収蔵品の適正管理を行う適正な保存を行なうため、随時保存状態の調査確認を行い、収蔵品について、データベース化を進める。				数, 種類共に膨大(特に民族資料)で、専従職員も当てられないため、データベース化にはかなりの年月がかかる。				一朝一夕には完成するものではないが、必要なものであるため、地道に、引き続き行っていく。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		92,717		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	データベース化完成割合			増加	B		
あしやトライあんどぐる(広報番組)						アウトカム	館外貸し出し作品等点数			増加			
その他		他の団体(団体名等)											

105	◆資料の収集保存										新規	継続	
	課名 図書館 課長名 丸尾 恵子				事業の 対象者 市民等								
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				
資料の収集保存を行った。				収蔵資料等のデジタル化推進				郷土資料等の電子化を検討していく。					
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標							
広報あしや(市広報紙)		市(課名)		24,511		区分	指標名	H24	H25	今後の目標	自己評価		
まちナビ(文字データ放送)						アウトプット	図書受入冊数	15,467冊	15,401冊	増加	C		
あしやトライあんどぐる(広報番組)						アウトカム	図書受入冊数	15,467冊	15,401冊	増加			
その他		図書館HP		他の団体(団体名等)									

基本的な施策	エ 文化活動に対する支援
主な施策概要	【23】活動している個人や団体に対して、より重点的・効果的な支援の充実
事業の具体例	◆芦屋市文化芸術活動助成事業の実施 ◆地域文化活動補助事業の実施

106	◆芦屋市芸術文化活動助成及び顕彰										新規	継続	
	課名 市民参画課 課長名 福島 貴美				事業の対象者 日ごろから芸術・文化に親しんでいる方								◎
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他			
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				

107	◆社会教育関係団体支援・育成事業〔再掲〕										新規	継続	
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 社会教育関係団体								◎
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他			
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				

108	◆芦屋市文化遺産継承・活性化事業〔再掲〕										新規	継続	
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の対象者 市内の文化遺産を継承している団体								◎
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	その他			
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				

基本的な施策	オ 文化活動に対する民間支援活動の促進
主な施策概要	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進
事業の具体例	◆寄附税制等に関する周知 ◆文化団体への寄附の促進 ◆企業メセナ等に関する情報の提供

109	◆市民参画・協働の仕組みづくりの推進										新規	継続	
	課名 市民参画課 課長名 福島 貴美				事業の対象者 市民								◎
	事業の目的												
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成	◎	発表の場の提供 市民活動の活性化	◎	学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会	◎	人材育成 歴史に触れ合う機会	◎	趣味・余暇の充実 外国文化との交流	◎	◎ その他		
	H25実施内容				課題				今後のビジョン				

基本的な施策	力 顕彰の実施
主な施策概要	【25】 顕彰の実施
事業の具体例	◆市民文化賞による表彰の実施 ◆富田碎花顕彰事業の実施

110	◆ 芦屋市民文化賞										新規	継続					
	課名 市長室 課長名 今石 佳太				事業の 対象者 主に市内で活動する個人又は団体							◎					
	事業の目的																
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他						
H25実施内容						課 題			今後のビジョン								
文化の高揚・生活の向上に貢献した功績が顕著な者に対し、市民文化賞を贈りこれを表彰することにより、市民文化の向上発展を図ることを目的とする。						潜在候補者の発掘			候補者の対象を広く照会し、潜在候補者の積極的な発掘を行うことにより、市民文化賞に最適な受賞者を選定し、本市における更なる文化の向上発展を図りたい。								
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ◎		市 (課名)		228		区 分		指 標 名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送)		市民参画課 スポーツ推進課				アウトプット		受賞者		3人		1人		増加		A	
あしやトライあぐる(広報番組)		他団体 (団体名等)		228		アウトカム		受賞率(%)		100%		50%		現状維持			
その他						菊寿会		アウトカム		受賞率(%)		100%		50%		現状維持	
111	◆ 富田碎花顕彰〔再掲〕										新規	継続					
	課名 生涯学習課 課長名 長岡 一美				事業の 対象者 市民、詩を親しむ人							◎					
	事業の目的																
	鑑賞機会の提供 コミュニティの形成		発表の場の提供 市民活動の活性化		学習機会の提供 伝統芸能等に触れ合う機会		人材育成 歴史に触れ合う機会		趣味・余暇の充実 外国文化との交流		その他						
H25実施内容						課 題			今後のビジョン								
【富田碎花賞の贈呈】 「詩人 富田碎花」の業績を顕彰するため、富田碎花顕彰会との共催により、公募した詩集の中から、優れた詩集に対し富田碎花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田碎花が長年居住し、谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での、碎花ゆかりの資料等の展示公開 【富田碎花顕彰会講座】 富田碎花顕彰会による講座の実施 5月：属日散趣(富田碎花遺稿詩集)をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催						中長期で見た場合応募詩集の数が、減少傾向が続いているので増加、又は、現状維持をする。			富田碎花賞実施の広報先を増やすことで、応募詩集数を増加させる。								
掲載された広報媒体		協働した団体		H25事業費(千円)		評価指標											
広報あしや(市広報紙) ◎		市 (課名)		595		区 分		指 標 名		H24		H25		今後の目標		自己評価	
まちナビ(文字データ放送) ◎		他団体 (団体名等)				アウトプット		応募詩集数		93		90		現状維持		B	
あしやトライあぐる(広報番組)				富田碎花顕彰会		アウトカム		応募 都道府県数		57%		62%		現状維持			
その他		富田碎花顕彰会		595		アウトカム		応募 都道府県数		57%		62%		現状維持			